

研修・訓練

電気通信設備やシステム等について学ぶための研究会を実施しています。
また、地域住民に災害に対する意識を高めていただくために、防災訓練や体験学習等を実施しています。

研究会・研修等

電気通信技術研究会の開催

電気通信技術研究会では電気通信技術の継承と技術力向上を目的として、電気通信資機材の運用(現場対応力)強化・改良、電気通信に関する新技術の啓発・活用、電気通信技術の継承をテーマに、施設研修、検討等を実施しています。研究会に参加することで、自分のスキルアップに繋がります。

検討会の様子



施設研修の様子



電気通信ビジョンの策定

「電気通信ビジョン」を策定し、電気通信分野の技術政策の推進を図っています。電気通信ビジョンの一環として、「AIによる災害の瞬時把握と防災情報の高度観測」、「ICT技術による電気通信工事等の効率化」などをテーマに、新技術の導入に取り組んでいます。

ICT技術勉強会



女性技術者の交流

全地整や関係他機関の電気・情報通信業務に携わる女性技術者達が集まり、今後女性が働きやすい職場になるための意見交流や、現状を話し合って相談する会もあります。それには本省も参加するため、全地整の女性職員が働きやすい職場への第一歩になります。

女性連絡会



平成29年度入省
中山 百合子

働きやすい環境作りのために

情報通信職種の研究会を通して最新技術に触れられ、また交流会での意見交換によって現状の職場の問題点について相談できる環境にあるため、改善のきっかけがつかめます。電気・情報・通信分野は幅広いため、把握が困難だと思われがちですが、こうした研究会・交流会・その他の研修等のサポートにより、職員達が働きやすい環境となっていると感じています。また先輩達は知識豊富で優しいため、安心して仕事に臨んでいます。

防災訓練

機器操作訓練を実施

南海トラフ地震などの災害発生時に、確実に通信を確保できるよう、通信機器の操作訓練を行っています。

Car-SATでの機器操作訓練



地方自治体と共同で防災訓練を実施

災害時の連携の強化を図るため、防災訓練を地方自治体と共同で行っています。

市役所とのテレビ会議



地域の防災訓練等に参加

地域の防災訓練等で、通信機器の展示や体験学習を行っています。その際には、職員が説明を行います。

小学校での体験学習



令和2年度
小笠原 友哉

訓練を通じて実感する通信の重要性

私は、災害発生時に通信の確保を図ることを目的とした防災通信訓練に参加しました。災害時に現場の状況を確認したり、災害対応において連携をとるためには独自の通信システムが不可欠であることを学びました。普段は当たり前のようにスマートフォンを利用し便利な通信が可能ですが、災害時にはそうはいきません。スマートフォンと同等の通信サービスまでは難しいですが、いかなるときでも確実な通信の確保をすとも、より簡易・容易に使用可能な機器の整備等を行うことが私たちの仕事です。

最後に…Finally



企画部
情報通信技術課長
上原 繁一

情報通信技術とともに

情報通信技術は目覚ましい進歩を続けており、私たちが整備する社会資本も例外ではありません。社会、経済活動を支えるインフラとして、その役割はますます増大しており、防災、減災対策など中部地方を取り巻く様々な課題の解決に重要な役割を果たすものと期待されています。「今、社会から何が求められているのか」、「実現するためにはどのような技術が必要なのか」を考えて仕事に取り組むことが重要です。一人ひとり、専門知識や経験を生かし、チームとなって信頼できる安定した情報通信技術基盤を維持するとともに、これからも中部の未来のために継続的な発展を志していきます。